

4 防災に関する普及啓発活動

事例 4-1 防災講演会（津久井地区）

津久井地区自治会連合会では、津久井地区の自主防災隊自治会員を対象に防災意識を高めるための取組として、平成24年度から「防災講演会」を実施しています。

【講演会の目的】

防災に関する講演会を実施し、日ごろから災害に対する備えと心構えとして「自助」「共助」を啓発する。

【講演内容】

テーマ：「女性の視点から見た避難所と日頃の備え」

講師：危機管理教育研究所 代表 国崎 信江 氏

日時：平成29年1月21日（土）午後2時～午後4時15分

会場：津久井中央公民館 1階 ホール

ここがポイント！

1. 避難所運営に女性の協力が非常に重要になると考え、平成27年度から「女性の視点から見た避難所と日頃の備え」というテーマで実施しています。
2. 地域の女性に講演を聴いていただくことが重要と考え、平成28年度から講演の対象を自主防災組織のリーダーから全自治会員に変更し、参加者約200名のうち女性の参加者を約70名募ることができました。

📎 講演会実施にあたって用意するモノ＆コト

必要なモノ

マイク、スクリーン、パソコン等

必要なコト

講演会の会場確保、講師との調整



【問い合わせ先：津久井まちづくりセンター（042-780-1403）】

事例 4-2

防災啓発カレンダー（津久井地区）

津久井地区自治会連合会では防災啓発として、「火災情報の入手方法」、「災害用伝言ダイヤルの使用方法」等を記載した防災カレンダーを平成27年度から作成し、全世帯へ配布しています。

【カレンダー配布の目的】

日ごろから災害情報の入手方法を知ってもらい、防災意識を啓発する。

【概要】

対象：7269世帯（平成28年度実績）

内容：「ひばり放送、火災情報の入手方法」

「災害用伝言ダイヤルの使用方法」

「避難に関する3つの情報の説明」 など

ここがポイント！

1. パンフレットやガイドブックは、日常的に目に触れることがないため、継続した啓発になりにくいという課題を抽出しました。
2. 防災を習慣づける、あるいは災害に備えるための啓発をより有効にするために、目に触れることの多いカレンダーを利用することとしました。



📎 カレンダー製作にあたって用意するモノ&コト

必要なモノ

防災ガイドブックなど、防災啓発に有効な情報を集めるための参考資料

必要なコト

掲載する情報の整理

配布先の数、費用、業務日数などを考慮した印刷作業の委託

【問い合わせ先：津久井まちづくりセンター（042-780-1403）】

防災マイスターによる講義と運営協議会で決定した訓練内容を実施し、防災意識の向上を図りました。

【講話と訓練の目的】

災害時における避難所の開設・運営を円滑に行うため、防災マイスターの講話により知識を共有した上で、避難所運営訓練を行う。

【主な訓練内容】

- ・ 避難所受付・避難者名簿作成訓練
- ・ 防災マイスターによる講義
- ・ 仮設トイレ設営訓練
- ・ 炊き出し訓練 など

ここがポイント！

1. 防災マイスターの講義を先に行うことで、避難所に関する基礎知識を持った状態で避難所運営訓練を行うことができました。
2. 避難者カードを活用した避難所への誘導や運営協議会で購入した啓発物品の（エマージェンシーボトル※）の紹介などを行い、防災意識の向上を図りました。



※エマージェンシーボトル：ウォーターボトルの中に懐中電灯やホイッスルなどが入った防災用品のセット

📎 訓練実施にあたって用意するモノ&コト

必要なモノ

訓練用アルファ化米およびビスケット、仮設トイレ、防災啓発物品

※マイスター講義にはプロジェクター、パソコンを使用

必要なコト

防災マイスターとの調整、役割分担などに係る事前打合せ、会場の確保、アルファ化米等の事前申請および受取り

【問い合わせ先：中央6地区まちづくりセンター（042-707-7049）】

橋本地区では、地区内の避難所運営協議会の情報共有の場として「橋本地区避難所運営協議会連絡会」を開催しています。この連絡会には各避難所運営協議会会長・副会長、現地対策班（橋本まちづくりセンター）、緑区役所地域振興課などが参加しました。

【連絡会の目的】

避難所の開設・運営に関して、各避難所の状況を知り、意見や情報を交換することで地区全体の防災力の向上を図る。

【主な内容】

- ・ 避難所運営訓練の計画内容及び実施状況
- ・ 避難所運営に関する意見交換 など

ここがポイント！

1. 連絡会を行うことで、避難所運営訓練を実施するうえでの課題や訓練の成果などを共有することができました。
2. 連絡会では必要に応じて避難所担当職員や防災専門員に参加を依頼し、地区の防災に携わる方の顔合わせやそれぞれの立場からの意見交換を行うことができました。



📎 実施にあたって用意するモノ＆コト

必要なコト

地区内の避難所運営協議会との調整、会場の確保や出欠確認などの連絡会の運営

【問い合わせ先：橋本まちづくりセンター（042-703-0354）】

事例 4-5

城山地区内避難所運営協議会等打合せ会（城山地区）

避難所運営協議会、学校施設管理者、避難所担当市職員及び連合自主防災組織の関係者が一堂に会する機会を設け、役割分担の確認や情報の共有を行いました。

【取組の目的】

避難所運営協議会、学校施設管理者、避難所担当市職員及び連合自主防災組織の関係者が一堂に会する機会を設け、避難所運営における地域住民、施設管理者、市職員の役割分担の確認や情報の共有を行うことにより、平常時における避難所運営訓練等の充実を図るとともに、災害時における避難所の円滑な運営を図ることを目的とする。

【主な取組内容】

- ・ 避難所の運営について説明（緑区役所地域振興課より）
- ・ 各避難所単位での情報交換等（自己紹介、協議会の現状確認、今年度の会議及び訓練計画について、など）

【参加人数】

50人

ここがポイント！

1. 避難所運営協議会ごとにチェックシートを活用し、避難所の鍵の管理体制、連絡体制及び施設の使用区域の確認等を行いました。
2. 年に一度、避難所運営協議会及び連合自主防災組織の関係者が合同で会議を開くことにより、城山地区内の情報共有を行うとともに、地区内の防災対策の連携を図ることができました。



📎 実施にあたって用意するモノ&コト

必要なモノ

各避難所のチェックシート、筆記用具

必要なコト

避難所運営協議会、施設管理者、避難所担当職員、連合自主防災隊との調整、会場の確保

【問い合わせ先：城山まちづくりセンター（042-783-8117）】

事例 4-6

独自の避難所運営マニュアルの作成（橋本地区）

宮上小学校避難所運営協議会では、新型コロナウイルス等の感染症対策を考慮した独自の運営マニュアルを検討、作成しました。

【取組の目的】

既存の避難所運営マニュアルを参考に、避難所独自の避難所運営マニュアルを検討、作成することで、実際に災害が発生した際の各作業班の対応を体系的に整理すること、及び避難所における感染症予防の具体的な対策を検討することを目的とする。

【主な取組内容】

- ・ 避難所運営協議会によるマニュアル案の作成
- ・ 市担当者や施設管理者への内容確認
- ・ 避難所となる学校の施設、設備の再確認
- ・ 避難所運営協議会を開催し、マニュアル案についての情報共有と意見交換（関係自治会の会長及び防災部長、市の危機管理課、緑区役所地域振興課など市関係部署の担当者が出席）
- ・ 意見交換を受けてのマニュアルへのフィードバック

【参加人数】

34人

ここがポイント！

1. 感染症対策として避難区画の配置見直し、感染の疑いのある避難者や感染弱者用避難区画の換気対策を盛り込みました。
2. 小学校の非常用発電機の電力供給系統、緊急遮断弁付受水槽の仕組みや上水の系統を踏まえたマニュアルの整理を行いました。
3. 避難所運営協議会の組織、業務分担、業務フローの見直しを行いました。

🔗 実施にあたって用意するモノ＆コト

必要なコト

国、県、市の新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドラインや医療機関の感染予防対策のマニュアル等の確認、避難所となる小学校の実地調査や各施設や設備の再確認、市の関係機関からの意見聴取

【問い合わせ先：橋本まちづくりセンター（042-703-0354）】

事例 4-7

ハザードマップと防災ガイドブックの読み合せ会（新磯地区）

新戸釣瓶下自主防災隊では、ハザードマップと防災ガイドブックについての勉強会を開催し、自分たちの住む地域のどこに危険度の高い場所があるかを確認しました。

【取組の目的】

ハザードマップと防災ガイドブックについての勉強会を開催し、自分たちの住む地域のどこに危険度の高い場所があるかを確認することで、事前に災害に備えるきっかけとなることを目的とする。

【主な取組内容】

- ・ ハザードマップと防災ガイドブックの読み合わせ
- ・ 自治会長及び副会長による資料についての解説、講義
- ・ 浸水、液状化の可能性等、近隣の危険度を把握し、災害時にどのような行動をとるべきかについて議論
- ・ 新磯地区連合自主防災隊の有志が作成した「新磯地区防災・ひなん双六」の使い方について説明

【参加人数】

28人

ここがポイント！

1. 新型コロナウイルス感染症対策のため、2回に分けて行い、それぞれ70分の勉強会を行いました。
2. 対象の自治会員のうち、約半数が集まり、説明と熱心な質疑応答が行われました。

📎 実施にあたって用意するモノ&コト

必要なモノ

各資料を人数分

- ・ 相模原市ハザードマップ
- ・ さがみはら防災ガイドブック

必要なコト

回覧等による自治会員への開催通知の周知の徹底



【問い合わせ先：新磯まちづくりセンター（046-251-0014）】